

●洗礼は3つの意味があります●

1) キリストに継ぎ合わせる---ぶどうの木 (ヨハネ 15:1-5)

2) キリストと共に死んで共に生きる---ローマ 6:3-4

3) 罪をキリストの血で洗い--- I ヨハネ 1 : 7

1 講義 眞の神様（箴言1：7）

1. 聖書で現れた神様

聖書のいう神様は、言葉の神様

ヨハネ 1.1 、イザヤ34：16、詩篇14：1

聖書は世界のベストセラー

BC1500- -AD100

約 1600 年間 40 人で記録

著者は神様（Ⅱテモテ3：16）

2. 創造主（創 1:1）

唯一であり、永遠な存在（イザヤ 43:10-11、44：6-8、45：5-6）

初めから、終わりでありまで知っておられる（イザヤ41：21-24）

（詩編139：1-16）立つのもすべて知る。人生の旅程の書物が1日もしないうちに
万物の創造主（イザヤ45：11-13）

3. 宇宙万物を治める主

生死禍福を治める主（Ⅰサムエル2：6-7）

主は殺し、また生かし、よみに下し、また上げる。主は、貧しくし、また富ませ、低くし、また高くするの
です。

全能の神様（Ⅰ歴代29：10-14、イザヤ40：12-17）

4. 愛の神様、三位一体の神

ヨハネ 3:16、ローマ5：8

愛の神であることを味わうこと

5. 裁き主

祝福と罰（申28：1-6、20）

天国と地獄（黙示録21：5-8）

渇く者→勝利を与える

<結論>

申6：4-5

2 講義 未信者の問題とキリストの奥義(なぜキリストを信じるべきか?)

(マタイ 16:13-20)

人類の根本問題は霊的問題であることを知るように

1. 人生の根本問題 (創 3:1-6)

2. 6つの問題(エベ 2:1-3)

3. キリストの奥義(マタイ 16:16)

1) 真の祭司 (ローマ 5:8 、1 コリント 15:3-4)

2) 真の王 1 ヨハネ 3:8

3) 真の予言者 ヨハネ 14:6

4. キリストの実体と受け入れ (黙 1 : 17-18 / ヨハネ 1:1-12)

5. 救いの確信 (I ヨハネ 5:11-13)

【結論】ただキリスト

一方的な恵み、恵みの契約

3 講義 聖徒の祝福とお祈り(なぜお祈りするべきか?)

(ヨハネ 14:14 使徒 1:14)

1. 聖徒の7つの祝福

- 1) 神の子供、聖霊の内住(ヨハネ 1:12, I コリント 3:16)
- 2) 聖霊の導き(ヨハネ 14:16-17, 26-27)
- 3) 祈りの答え(ヨハネ 14:14, 16:24)
- 4) 悪魔を縛る権威(ルカ 10:19)
- 5) 天使の守り(ヘブル 1:14)
- 6) 天国の市民権(ピリピ 3:20)
- 7) 世界福音化権(マタイ 28:16-20, 使徒 1:8)

2. お祈りの特権

- 1) 神様に
- 2) 神様の子供が
- 3) イエスの御名で ヨハネ 14:14, 16:24
- 4) 何か, ヨハネ 14:14
- 5) ことごとく, 2 コリント 1:20

3. お祈りの内容

- 1) 賛美
- 2) 感謝
- 3) 悔い改めて
- 4) 求めと執り成し

4. 聖霊の秘密

- 1) 神とキリストの霊
- 2) 助け主 ヨハネ 14:16
- 3) 力をくださる ゼカリ 4:6
- 4) 伝道ができる 使徒 1:8
- 5) 信仰を成長させる

5. お祈りの方法

- 1) 定時のお祈り
- 2) 常時のお祈り
- 3) 権勢のお祈り、命令のお祈り、縛りのお祈り
- 4) 集中のお祈り

結論

ただ聖霊の満たし

4 講義 教会礼拝の生活 (なぜ教会で礼拝を捧げるべきか?) (使徒 2:42)

1. 聖徒の最高の祝福

1) 礼拝の対象

父なる神様 黙 4:11

イエスキリスト 黙 5:12

聖霊の神様.

2) 救われた目的 エペ 1:6

3) 教会中心の礼拝を通して全ての祝福される

創 12:7, 1 列王 3:4-10、使徒 2:42, 3:1

2. 礼拝の内容

1) 賛美 へ 13:15

2) お祈り 黙 8:3-5

3) 御言葉 詩 78:1 、 I ペトロの手紙 2 章 1-3 節御言葉の乳をしたいものとめよ!

4) 献金(十分の一献金) 一献金は祝福(マラキ 3:10-12 マタイ 6:21)

3. 礼拝の種類

1) 主日礼拝

2) 水曜礼拝

3) 金曜徹夜礼拝

4) 早天礼拝

5) 家庭、現場礼拝

4. 礼拝に成功するために

1) 時間を守る

2) 態度

3) 前の席

4) 心の中心

5. 教会の 4 つの機能

1) 礼拝

2) 伝道

3) 交わり

4) 奉仕

※1)は神様と 2)-4)は聖徒達と

5講義 御言葉に従順する生活（なぜ御言葉を守るべきか？）

1. 御言葉に対する姿勢

(1) Iサムエル15：22-23

するとサムエルは言った。「主は主の御声に聞き従うことほどに、全焼のいけにえや、その他のいけにえを喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。

(2) マタイ4：4

(3) マタイ5：17-19

(4) マタイ14：15

2. 御言葉の核

(1) イエスキリストを信じる（ヨハネ5：39、20：31）

(2) 神と人とを愛する（出20：1-7、申命記6：4-5、マタイ22：37-40）

(3) 伝道（至上命令、宣教命令）

マタイ28：18-20、マルコ16：15-20、ヨハネ21：15-18

3. 御言葉に従う祝福

(1) 創世記26：2-5

(2) 申命記28：1-6

(3) ヨシュア1：7-8

(4) 詩篇1：1-3

(3) ピリピ4：9

あなたがたが私から学び、受け、聞き、また見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神があなたがたとともにいてくださいます。

4. 御言葉の重要性

(1) 詩篇119：103-105

あなたのみことばは、私の上あごに、なんと甘いことでしょう。蜜よりも私の口に甘いのです。

(2) 第一ペテロ 1：24-25

「人はみな草のようで、その栄えは、みな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。

しかし、主のことは、とこしえに変わることがない。」とあるからです。あなたがたに宣べ伝えられた福音のことがばがこれです。

(3) 黙示録1：3

<結論>

コロサイ1：28-29

第二テモテ3：16-17